

楠の大樹

校訓 自立・敬愛

学校教育目標

自分に誇りをもてる生徒の育成

3月17日 修了式・3月18日 卒業式 が行われました

修了式における高橋基校長の式辞(抜粋)

長いようであつという間の1年が終わろうとしています。

皆さんにとって、この1年はどうでしたでしょうか。

- ・満足いく1年
- ・なんとなく過ぎた1年
- ・もう少しこうすればよかったという1年



きっと、それぞれの学年や学級で、この1年の振り返りは、すでに行ったり、今日確認したりするのかもしれませんが。

過去は振り返ることができても、変えることはできません。振り返って「次はこうしよう！」という思いを、しっかり次に生かしてください。

現2年生は、最上級生になり、現1年生は、先輩になります。

それぞれ、必要な心構えについても、各先生方から日々の生活の中でお話があったと思いますので、そのことをしっかり心にとめて今後に生かしてください。

校長として、私が皆さんに臨むのは、「それぞれが充実した生活を送ること」です。そのために、他の人の生活を害する行為は絶対に許されるものではないと考えています。また、それには、「もの」へ当たったり、生活の約束事を守らない「身勝手な行為」をしたりすることなども、含まれると思ってください。

そのうえで、自分のやりたいことや目標をしっかり持って、「充実」した学校生活を送ってほしいと思います。また、そのために、その都度「正しい判断ができているか」ということも大切になってきます。

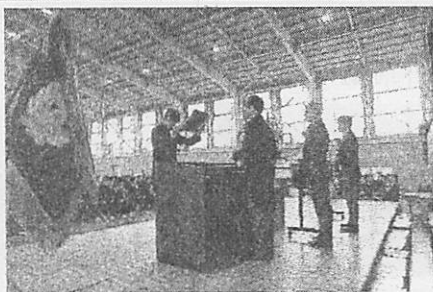
令和7年度は、ことあるごとに、「充実していますか?」「正しい判断ができていますか?」と呼びかけていきたいと思います。

最後に、明日の卒業式で、お世話になった3年生の先輩を、感謝の気持ちで送り出し、令和7年度を元気に迎えられるように、充実し、しっかり充電できる春休みにしてください。

卒業式の思い出アルバム



入場



卒業証書授与



校長式辞



令和6年度 中郡小学校だより

くすのき



令和7年3月14日

1年間の確かな歩み

正門脇の桜の蕾が少しずつ膨らみはじめ、中庭の花壇ではボランティアさんと子供たちが植えた花がだんだんと咲いてきました。日中の暖かな日差しが校舎内にも差し込むようになり、待ち望んでいた春の到来を感じさせます。令和6年度、中郡小学校の教育活動も、本日の修了式、17日の卒業証書授与式をもって締めくくりとなります。4月より、教育目標「ともに輝き合う ～かかわりの中で自分を磨く子～」の具現に向けて、「学び合い」「認め合い」「鍛え合い」を合言葉に教育活動を進めてきました。子供たちは、日々の学習や学校行事に至るまで、その子らしい輝きを放ちながら「精一杯」頑張り、自分を成長させました。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も子供たちの学びを応援するとともに、中郡小学校への御支援・御協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

リーダーのバトンを引き継ぐ

2月21日に6年生を送る会を行いました。5年生が中心となり、6年生への感謝をどのような形で表すか、各学年の力をどの場面でどう発揮するか等について話し合い、知恵を出し合いながら準備を進めました。途中、6年生の足跡をたどり、リーダーとして頑張ってきた姿を再認識することにより、6年生の存在の大きさを改めて感じたようでした。会の当日は、学年ごと、歌やメッセージを6年生に届けました。会場となった体育館は温かさに包まれ、感動的な会となりました。

5年生は、きびきびとした動きで会を運営・進行し、「次の中郡小のリーダーは自分たちだ。自分たちが中心となって、よりよい中郡小をつくっていく」という自覚の芽生えがうかがえました。リーダーのバトンが6年生から5年生へと引き継がれたことを感じました。学校は異年齢の子供たちが集い、活動する場所です。日々の生活の中で、上級生は下級生にとっての大切なロールモデルとなります。6年生を送る会を通して、責任感や思いやり等、目に見えないけれど大切なものがたくさん引き継がれたように思います。



(校長)